ごあいさつ

理事長

加知康之

平素は東濃信用金庫に格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和４年度は、東濃信用金庫にとって、創業100周年を迎えた記念すべき年となりましたが、日本経済は、新型コロナウイルス感染症が収まることなく３年余りが経過し、世界的な物価高も加わってその影響は多岐にわたり厳しい１年となりました。

このような環境の下、「2021.4～2024.3 中期経営計画 ～地域に力を～」の中間年度として、アフターコロナを見据え、地域・お客さまと向き合うフロント力を強化し、地域やお客さまの課題解決に尽力することにより、持続可能な地域と金庫の実現を目指してまいりました。地域社会への貢献活動では、とうしん地域振興協力基金、東濃信用金庫育英会、美濃陶芸作品永年保存事業などの活動に引き続き取組んだほか、フードドライブの開催や CO_2 排出量算出ツールの提供を始めるなど SDGs に関連した活動にも取組みました。店舗につきましては、肥田支店及び土岐口支店を土岐中央支店を母店とした出張所とし、土岐中央支店では土曜営業を開始しました。また令和５年３月には創業100周年記念式典を開催、新本店ビルをグランドオープンしたほか、地域の皆さまに役立つ情報の発信と、様々な相談窓口としての「とうしんウェイプラザ」をプラティ多治見３階に開設しました。

令和５年度は、経済活動は正常化に向かいつつありますが、世界的な原材料価格の高止まりや国内における人手不足の問題等により、地域経済への影響が懸念されています。当金庫は引き続きお客さまの立場に寄り添い、丁寧に状況を把握し、今まで以上に資金繰り支援・事業再構築支援等に努めるとともに、ビジネスマッチング、人材紹介等の本業支援に一層尽力し、お客さまの期待にお応えしてまいります。東濃信用金庫は次の100年に向けて、新たな一歩を踏み出しました。厳しく不透明な時代ではありますが、お客さまと共に乗り切るため、双方にとって何が必要かを考え、何事もやり遂げる強い気持ちで取組んでまいります。

令和5年7月

東濃信用金庫　本店

当金庫の概要　（令和５年３月31日現在）

設立	昭和54年4月1日（創業：大正11年1月15日）
本店所在地	岐阜県多治見市本町2丁目5番地の1
会員数	109,667人
出資金	1,952百万円
純資産	80,837百万円
預金	1,213,818百万円（譲渡性預金含む）
貸出金	572,721百万円
自己資本比率	16.58%（国内基準）
不良債権比率	5.07%
店舗数	56店舗
常勤役職員数	804人
長期発行体格付	「Ａ－」（JCR 令和5年6月取得）

Contents

経営理念・経営方針…… 1
中期経営計画・とうしんの格付…… 2
内部管理態勢・リスク管理態勢…… 3
コンプライアンス（法令等遵守）体制…… 4
お客さま保護…… 5
お客さま本位の業務運営に関する基本方針 /
マネー・ローンダリング及びテロ資金供与防止への取組み… 6
金融ＡＤＲ制度への対応…… 7
総代会制度…… 8
地域社会と“とうしん”…… 10
営業および業務のご案内…… 13
主な手数料一覧…… 17
当金庫の概要…… 20
店舗一覧…… 22
営業地区・店舗網／ATMコーナー …… 23
沿革…… 24
資料編…… 25
開示項目一覧…… 56